

平成 14 年 4 月 23 日

各位

会社名 二チメン株式会社  
代表者名 代表取締役社長 半林 亨  
(コード番号 8004 )  
問合せ先 広報担当部長 古谷 良樹  
(TEL 03-5446-1062 )

**平成 14 年 3 月期通期業績予想 (連結・単体) の修正に関するお知らせ**

**1.平成 14 年 3 月期の業績予想の修正 (平成 13 年 4 月 1 日～平成 14 年 3 月 31 日)**

(1)連結 (単位 :百万円)

(ご参考)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純損益
前回公表予想 (A)	2,100,000	29,000	21,000	10,000
今回修正予想 (B)	2,000,000	33,000	26,500	1,100
増減額 (B-A)	100,000	4,000	5,500	8,900
増減率	4.8%	13.8%	26.2%	89.0%
前期 (平成 13 年 3 月期)実績	2,419,340	23,079	17,402	21,142

(2)単体 (単位 :百万円)

(ご参考)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純損益
前回公表予想 (A)	1,500,000	10,000	10,000	3,500
今回修正予想 (B)	1,500,000	15,500	21,000	1,000
増減額 (B-A)	0	5,500	11,000	2,500
増減率	0.0%	55.0%	110.0%	71.4%
前期 (平成 13 年 3 月期)実績	1,753,307	7,200	8,069	14,857

**2.修正の理由**

(1)連結・単体における当期純損益の修正理由

株式市況の低迷により、単体で保有しておりますアイ・ティー・エックス(株)株式で約 287 億円の評価損を計上するなど、単体合計で約 320 億円 (連結合計で約 330 億円)の投資有価証券評価損を特別損失として計上いたします。このことを主要因として、当期純損益を上記の表にありますとおり、修正いたします。

(2)単体における経常利益の修正理由

建設部門のマンション事業や土地売買が好調だったことなどにより、営業利益が増加しました。また、単体が発行する社債の買入消却益の計上などにより、その他営業外損益が良化しました。これらを主要因として、経常利益を上記の表にありますとおり、修正いたします。

**3. その他**

平成 14 年 3 月期の期末配当の有無、ならびに平成 15 年 3 月期の業績見通しにつきましては、平成 14 年 5 月 16 日に予定しております平成 14 年 3 月期の決算発表時にお知らせいたします。

以上

**【補足資料】**

本業績予想修正における経常利益・特別損益・税引前当期純利益及び当期純利益

連結

	02/3 通期予想 (単位 :億円)
経常利益	265
- 特別利益	280
- 特別損失	450
(内、投資有価証券評価損	330)
特別損益計	170
税金等調整前当期純利益	95
当期純利益	11

単体

	02/3 通期予想 (単位 :億円)
経常利益	210
- 特別利益	240
- 特別損失	430
(内、投資有価証券評価損	320)
特別損益計	190
税引前当期純利益	20
当期純利益	10

(ご参考) 当中間期 (01/4 ~ 01/9)での特別損益

連結

	中間期実績 (単位 :億円)
- 特別利益	91
- 特別損失	49
(内、投資有価証券評価損	11)
特別損益計	42

単体

	中間期実績 (単位 :億円)
- 特別利益	18
- 特別損失	31
(内、投資有価証券評価損	8)
特別損益計	13

以上